

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 5 年 11 月 13 日(2023.11.13)

【公開番号】特開 2022-14088(P2022-14088A)

【公開日】令和 4 年 1 月 19 日(2022.1.19)

【年通号数】公開公報(特許)2022-009

【出願番号】特願 2020-116242(P2020-116242)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02(2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 1 6 A

【手続補正書】

【提出日】令和 5 年 11 月 2 日(2023.11.2)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

20

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、

可変表示を開始するときに特定演出を実行可能な特定演出実行手段と、

前記有利状態に制御されることを報知する特別報知演出を実行可能な特別報知演出実行手段と、

遊技者の選択操作に基づいて第 1 演出状態と該第 1 演出状態よりも前記特別報知演出が実行され易い第 2 演出状態と、を少なくとも含む複数種類の演出状態に制御可能な演出状態制御手段と、を備え、

30

前記特定演出が実行される場合の方が前記特定演出が実行されない場合よりも前記有利状態に制御される割合が高く、

前記特別報知演出の実行タイミングとして、前記特定演出が開始してから特定期間経過後の特定タイミングと、該特定タイミングとは異なり、該特定タイミングよりも後の所定期間における所定タイミングと、を少なくとも含み、

前記第 1 演出状態から前記第 2 演出状態に制御されたときに、前記所定タイミングにおいて前記特別報知演出が実行される割合を所定割合増加させることが可能であり、

前記第 1 演出状態から前記第 2 演出状態に制御されたときに、前記特定タイミングにおいて前記特別報知演出が実行される割合を前記所定割合よりも高い特定割合増加させることが可能であり、

40

前記有利状態は第 1 有利状態と、該第 1 有利状態よりも有利度の高い第 2 有利状態と、を含み、

前記特別報知演出実行手段は、

前記第 1 有利状態に制御される場合よりも前記第 2 有利状態に制御される場合の方が高い割合で前記特別報知演出を実行可能であり、

前記特別報知演出として、第 1 特別報知演出と、該第 1 特別報知演出よりも遊技者にとっての認識度が高い第 2 特別報知演出と、を実行可能である、

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

50

【補正対象項目名】 0 0 0 7

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 0 7 】

( A ) 上記目的を達成するため、本発明に係る遊技機は、  
 遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、  
 可変表示を開始するときに特定演出を実行可能な特定演出実行手段と、  
 前記有利状態に制御されることを報知する特別報知演出を実行可能な特別報知演出実行手段と、  
 遊技者の選択操作に基づいて第 1 演出状態と該第 1 演出状態よりも前記特別報知演出が  
 実行され易い第 2 演出状態と、を少なくとも含む複数種類の演出状態に制御可能な演出状態  
 制御手段と、を備え、  
 前記特定演出が実行される場合の方が前記特定演出が実行されない場合よりも前記有利  
 状態に制御される割合が高く、  
 前記特別報知演出の実行タイミングとして、前記特定演出が開始してから特定期間経過  
 後の特定タイミングと、該特定タイミングとは異なり、該特定タイミングよりも後の所定  
 期間における所定タイミングと、を少なくとも含み、  
 前記第 1 演出状態から前記第 2 演出状態に制御されたときに、前記所定タイミングにお  
 いて前記特別報知演出が実行される割合を所定割合増加させることが可能であり、  
 前記第 1 演出状態から前記第 2 演出状態に制御されたときに、前記特定タイミングにお  
 いて前記特別報知演出が実行される割合を前記所定割合よりも高い特定割合増加させるこ  
 とが可能であり、  
 前記有利状態は第 1 有利状態と、該第 1 有利状態よりも有利度の高い第 2 有利状態と、  
 を含み、  
 前記特別報知演出実行手段は、  
 前記第 1 有利状態に制御される場合よりも前記第 2 有利状態に制御される場合の方が  
 高い割合で前記特別報知演出を実行可能であり、  
 前記特別報知演出として、第 1 特別報知演出と、該第 1 特別報知演出よりも遊技者に  
 対しての認識度が高い第 2 特別報知演出と、を実行可能である、  
 ことを特徴とする。  
 さらに、上記目的を達成するため、本発明に係る遊技機は、  
 可変表示を行う遊技機であって、  
 第 1 有利状態と該第 1 有利状態よりも有利度の高い第 2 有利状態とを少なくとも含む複  
 数種類の有利状態に制御可能な有利状態制御手段（例えば特別図柄の変動表示が 1 0 0 回  
 実行されるまで特別状態を継続可能となる第 1 特図大当り A と特別図柄の変動表示が 3 回  
 実行されるまで特別状態を継続可能となる第 1 特図大当り C とに制御可能な遊技制御用マ  
 イクロコンピュータ 5 6 0 など）と、  
 通常状態よりも可変表示が実行されやすい特別状態に制御可能な遊技状態制御手段と、  
 前記有利状態に制御されることを報知する特別報知演出を実行可能な特別報知演出実行  
 手段と、を備え、  
 前記特別報知演出実行手段は、前記第 1 有利状態に制御されるときよりも前記第 2 有利  
 状態に制御されるときの方が高い割合で前記特別報知演出を実行可能であり（例えば図 3  
 4（B - 1）や図 3 4（B - 2）に示すように、可変表示内容が第 1 当り、すなわち有利  
 度が最も高い当りに対してプレミア振動演出についての決定割合が割り当てられているな  
 ど）、  
 前記遊技状態制御手段は、可変表示の実行回数が特別回数となり特別条件が成立したこ  
 とに基づいて前記特別状態に制御可能であり、  
 前記遊技状態制御手段は、前記特別条件が成立したことを基づいて前記特別状態に制御  
 された場合であって該特別状態から前記通常状態に制御されてからの特殊期間において前  
 記有利状態に制御された場合に、前記第 1 有利状態と前記第 2 有利状態とを含むいずれの

10

20

30

40

50

有利状態に制御されたときであっても、該有利状態の終了後に前記特別状態に制御し（例えば残保留期間中において当りとなることにより、再度時短状態に制御されるなど）、

前記特別報知演出実行手段は、前記特殊期間において前記有利状態に制御される場合、前記第1有利状態と前記第2有利状態とを含むいずれの有利状態に制御されるときであっても共通の割合で前記特別報知演出を実行可能である（例えば図34（B-3）や図35（B-4）に示すように、大当り経由の時短終了後の残保留の変動や天井時短終了後の残保留の変動の場合は、第1当り～第3当りのいずれの可変表示内容に対してもプレミアム振動演出についての決定割合が割り当てられており、それぞれの可変表示内容に関わらず共通の決定割合が割り当てられているなど）、

ことを特徴とする遊技機。

10

20

30

40

50